

令和7年度外部評価会 集計表(農業者用)

所属名: 鹿児島地域振興局農政普及課

課題名①	三島村焼酎用さつまいも生産安定対策支援						
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等	
		適当	概ね 適当	要 改善			
課題の 設定	①農業者や地域が必要とする課題であるか	5	1		・さつまいもの生産は焼酎産業の根幹を支える部分なので、安定して生産することが最重要課題ともいえる。 ・島を対象は適している。		
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	4	1		・黒島・硫黄島で焼酎用サツマイモを生産している人数は年々減少してきているが、現在生産に関わっている人たちに的確にコンタクトできている。 ・品種は増やせるのか？		
活動体制・ 活動方法	③関係機関とうまく連携して活動しているか	5	1		・資材・肥料・農業の手配等を細かく連絡を取りながら、実際に現場に来てもらったり、説明をしてもらったりしているの、サツマイモ栽培において非常に助かっている。 ・マルチの中まで消毒できたら、もう一つ試験できるのでは？ ・土壌診断、植え付け時期、基本技術、聞き取りから提言→成果大、来年度への対策、課題の明確化、わかりやすかったです。		
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	4	2				
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	3	3				
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	6			・育成後期(8月中旬以降)に病気が広がってしまったが、前年と比べ着実に塊根は肥大しており、取り組みに対して効果があった。 ・SNSを利用して適時のアドバイスはいいですね。		
活動の 波及性 と改善	⑦他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	3	3		・黒島ではさつまいもの自家栽培が盛んにおこなわれており、さらに学校教育にも組み込まれており、安定して生産できることが島の活気にも繋がるので、収量アップは地域へのお手本として大きな意味があると考えている。 ・排水対策が課題であるが、途中までかなり良くできていたので、残念だったと思います。豪雨や台風など自然への対応にも気をはらないと思いました。 ・収量増＝収入増か？焼酎の味もおいしくなった？焼酎の生産量は増？販売までのこともうかがいたい。		
	⑧結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	3	3				
全体的な意見・提言等		・土壌消毒を行い、適正な施肥を行うことで収量が大きく変わったとのこと。基腐病対策によっても安定的に収量が取れたことなど、基本が大事だと考えさせられました。 ・排水対策や株間など小さなミスをなくすると精度も上がりそうですね。 ・改善テーマに寄り添って、アドバイスされている様子を感じました。農家さんも元気になると思います。心強い存在だと思いました。					

令和7年度外部評価会 集計表(関係者用)

所属名: 鹿児島地域振興局農政普及課

課題名① 三島村焼酎用さつまいも生産安定対策支援						
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等
		適当	概ね 適当	要 改善		
課題の 設定	①課題は地域の農業振興上、重要な課題であるか	8			・焼酎つくりにはかせない芋の安定供給に向けて適当である。	
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	7	1		・資料に農家戸数や植え付け面積などがあったほうが良い。 ・当事者でもあり適当である。	
活動体制・活動 方法	③関係機関と連携して活動しているか	7	1		・十分に体制を整え、活動されていると思われる。 ・基腐病の対策は必須であり決め事を作るなどは必要と感じる。	
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	7	1			
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	7	1			
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	6	2		・収量が増加したが、令和6年は夏から秋の降雨が非常に少なく根ものが栽培しにくかったので、気象条件などデータの比較はしなくてよかったか？ ・単修向上しているのは、重要である。人材不足のなか重要なことである。	
	⑦指導対象が積極的に課題解決にあたるようになったか	6	2			
活動の 波及性と改善	⑧他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	7	1		・土壌診断施肥設計を行う必要性を感じた。他の作物にも流用できそう。	
	⑨結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	7	1			
全体的な意見提言等		・条件不利地の三島村において安定したかんしょの生産に向けて、一定の成果が得られていると評価できる。 ・課題に対して、的確な指導をしてください、ありがとうございます。天候などでなかなか出張が難しいところもありますが、ライン等で今後も指導いただけると幸いです。 ・PDCAサイクルをうまく回しており、今回の取り組みで来年の回復が期待できる。 ・令和6年までは栽培に関する基本的なことができていない。特に単収が低いのは、植付時期が遅いことに起因しているのでは？				

三島村焼酎用さつまいも生産安定対策支援



鹿児島地域振興局 農政普及課 経営普及係

1

三島村について

- ・薩摩半島南端から南南西約40kmに位置
- ・竹島、硫黄島、黒島の三つの島からなる村
- ・人口356人
(令和8年1月1日時点)
- ・主な産業
生産牛、**焼酎**、椿油
大名たけのこ



2

三島村焼酎用さつまいも生産の概要

平成15年に焼酎プロジェクトチームを発足
 平成16年から濱田酒造に委託製造開始
 平成17年に初代「焼酎みしま村」を販売開始

焼酎特区の要件 平成29年9月に改正

- ① 特区焼酎の主な原料が、当該地方公共団体の長が特区地域の**特産品として指定した農産物であること**
- ② 製造する数量が1年あたり10KLまでであること



平成30年9月8日
「無垢の蔵」落成



令和元年5月1日に初蔵出し

一般的な原料芋



コガネセンガン

三島村の原料芋



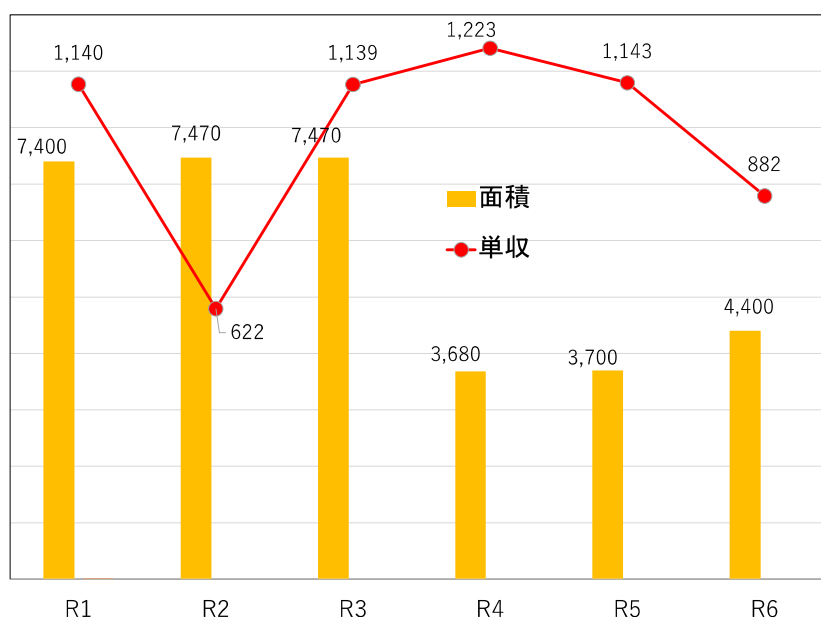
ベニオトメ

3

三島村焼酎用さつまいも生産の概要

単位: m²

10,000
9,000
8,000
7,000
6,000
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0



単位: kg/10a

1,200
1,000
800
600
400
200
0

単収が低く、昨年は基腐病の影響もあった

4

普及計画の位置づけ

三島村焼酎用さつまいも生産安定対策支援

- 1 単収向上対策支援 2 サツマイモ基腐病対策支援



加工用甘藷生産拡大検討会(令和6年12月13日)

①鹿児島地域振興局農政普及課②三島村関係者, ③農業開発総合センター

- ・問題点の整理や課題の抽出
- ・農政普及課から土づくり・施肥設計の見直し・良質苗の確保対策を提案

5

1 単収向上対策支援

(1) 施肥設計の見直し

- ア 土壌分析を実施せず, 例年同じ施肥体系
- イ 元肥(特にNとP)の不足
- ウ アルカリ資材の連用



令和7年2月25日～27日(現地指導)
令和7年度に生産するほ場を訪問し, 状況確認を行った。



令和7年3月7日
土壌分析及び現地訪問の結果を反映した処方箋を
ほ場ごとに作成し, 説明を行った。

6

6

1 単収向上対策支援

(2) 育苗・植え付け時期について

ア 基苗導入が遅く、軟弱・徒長苗が多い

イ 植え付け時期が5月中旬から7月までであった



ア 種苗会社からの良質苗導入を推奨

イ 早期植え付けを推進

7

1 単収向上対策支援の結果

(1) 土壌診断を行い、施肥設計を見直し

(2) 種苗会社からの良質苗導入を推奨、早期植え付けを推進



1株当たりの収量は増加

令和6年9月27日(黒島)



令和6年10月2日(硫黄島)



坪堀り調査の結果から
10aあたりの収量を算出

令和6年
882kg



令和7年10月1日(黒島)



令和7年10月(硫黄島)



令和7年
2,333kg

8

1 単収向上対策支援の反省点・次年度への課題

1 良質苗を種苗会社に委託していたが、春先の低温で必要量が確保できなかった

令和7年度植え付け計画
ベニオトメ 5,600本



令和7年度植え付け本数
ベニオトメ 3,300本
(△2,300本)

2 植付時の基本技術の徹底

(1) 高温・乾燥による焼け



植付時、しっかり押さえて
土で覆う(乾燥を防ぐ)

(2) 株間が狭すぎる箇所がある



植え付け間隔を広くし、統一する



○のマークに併せて
植える(38cm)

9

2 サツマイモ基腐病対策支援

サツマイモ基腐病とは



■ サツマイモにカビ
(糸状菌)の一種が感
染して発病

■ 鹿児島県では平成30
(2018)年に初確認

■ 感染した株の地際の
茎は黒く変色。茎葉は
黄色や紫色に変色

■ 株全体が萎れ、
やがて枯死



持ち込まない、増やさない、残さない
の3つの基本技術を徹底することで
県内での被害は減少傾向にある



サツマイモは「**植えれば出来る作物**」という認識であったが、サツマイモ基腐病発生以降、
「**しっかり基本技術を徹底しなければいけない作物**」に変わってきている

10

2 サツマイモ基腐病対策支援

基腐病の発生の伝染環



11

2 サツマイモ基腐病対策支援

(1) 持ち込まない(良質苗について)

- ア 基苗導入が遅く、軟弱・徒長苗が多かった
- イ 植え付け時期が5月中旬から7月までであった
- ウ 育苗ハウスが病害に汚染されている可能性がある



- ア 種苗会社からの良質苗導入を推奨
(ほ場に病原菌を持ち込まない)
- イ 早期植え付けを推進
(早植え・早掘りで塊根の被害を軽減する)
- ウ 令和7年度は自家育苗はとりやめ、糖含有珪藻土による土壌還元消毒を行った
(ハウス内育苗において基腐病の防除には、土壌還元消毒が有効である)

12

2 サツマイモ基腐病対策支援

糖含有珪藻土による土壌還元消毒 令和7年8月5日～6日(黒島)

糖含有珪藻土を散布・耕耘



鎮圧



散水



ビニールによる被覆



※) 土壌還元消毒は、土壌に有機物を混和して湛水し、30℃以上の高い地温で還元状態にすることにより、糸状菌、細菌、線虫など土壌中の病害虫を死滅させる防除技術。化学合成農薬を用いない環境負荷の低い土壌消毒技術として注目されている。

南九州市の現地苗床では、土壌還元消毒を実施し、試験終了後の翌春に挿し苗育苗した結果、消毒前の前年作では基腐病の発病株率が10%以上あったのに対し、消毒後には発病は認められなかった(表1)

表1) 土壌還元消毒前後の苗床での育苗中の発病株率

苗床No.	発病株率	
	2022年	2023年
a	10%以上	0%
b	10%以上	0%

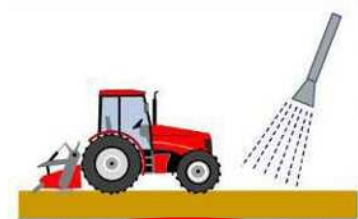
2025「かんしょ種苗生産工程におけるサツマイモ基腐病発病リスク低減」マニュアルから引用

13

2 サツマイモ基腐病対策支援

(2) 増やさない(畝立て前・生育期の防除について)

畝立て前



土壌全面散布後土壌混和

フリントフロアブルを散布

定植時



苗消毒

ベンレート水和剤による苗消毒
(これまでも実施)

定植3～4週目



抜き取り+薬剤散布
(これまでも実施)

定植5～6週目



抜き取り+薬剤散布
(これまでも実施)

フロンサイドSCを散布



異常株は適宜、抜き取り
(これまでも実施)

14

2 サツマイモ基腐病対策支援(持ち込まない・増やさない)の結果

8月6日時点

10月1日時点



地上部

この時点までは地上部・地下部ともに生育は良好であった



地下部



地上部

8月の豪雨で水が畝間に溜り、病害が広がっていた

10月時点でも生育良好な地下部もあった



地下部

15

2 サツマイモ基腐病対策支援(持ち込まない・増やさない)の反省点・次年度への課題

良質苗を導入、早期植え付け、畝立て前・生育期の防除の実施により、8月上旬までは地上部・地下部ともに順調な生育であったが、8月の集中豪雨時に水が溜まり病害が広がった

(1) 排水対策を始めとした、総合的な病害対策を徹底する



ほ場外へ排出
ほ場外も水が
流れるようにする



2018年および2019年の疫学調査から、かんしょの塊根腐敗症状(主に基腐病)の発生には、圃場の排水性、積算降水量が大きく影響していると考えられている。

サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策・令和5年5月 生研支援センター」より引用

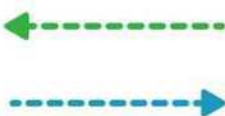
(2) 各ほ場ごとに2週間おきに、さつまいもの生育状況を確認する



生育状況を撮影(三島村)



令和8年よりラインワークスを活用



振興局で確認・指示

16

2 サツマイモ基腐病対策支援

(3) 残さない(次年度のほ場準備について)

- ア 休耕せず、サツマイモを連作していた
- イ 20cm以下に固い盤があり、排水が良くない



- ア 休耕して、緑肥作物を栽培(輪作)
- イ サブソイラによる耕盤破碎

スーダングラスの栽培
(5月～8月)



8月6日時点

スーダングラスすき込み



8月8日時点

サブソイラによる耕盤破碎



10月1日時点

ヘアリーベッチの栽培
(10月～3月)



1月8日時点

17

2 サツマイモ基腐病対策支援

ア 休耕して、緑肥作物を栽培(輪作)

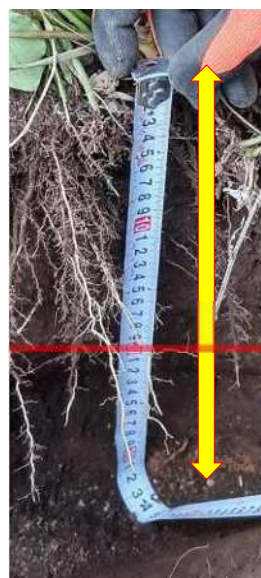


スーダングラス(イネ科)
令和7年5月～8月

根が耕盤層を通過して、水の通り道を作るとともに耕盤層を軟らかくする。

緑肥をすき込んだ後は有機物の補給による団粒化につながります。

スーダングラスの根



深さ30cmまで根が伸長

耕盤層



ヘアリーベッチ(マメ科)
令和7年10月～令和8年3月

根に共生する根粒菌の働きで窒素ガスをアンモニアに変換し、養分として利用することができる



ヘアリーベッチの根についた根粒

18

2 サツマイモ基腐病対策支援

イ サブソイラによる耕盤破碎

トラクターなどの繰り返し作業でできる土壌の硬い層「耕盤層」を、サブソイラなどの専用機械で亀裂を入れて壊し、**排水性・通気性を改善**



トラクタの22馬力と小さいので
2本爪を1本爪に変更



耕盤破碎跡



耕盤層

40cmまで
耕盤破碎

19

R 7 : 普及活動の成果

1 単収向上対策支援について

- (1) 土壌診断に基づいた施肥設計、種苗会社からの良質苗導入、早期植え付けにより、**1株当たりの収量は増加した**
- (2) 植付時の**基本技術の徹底が必要である**ことがわかった
(高温・乾燥対策、適正な植え付け間隔)

2 サツマイモ基腐病対策支援について

- (1) 畝立て前・生育期の防除の徹底により、8月上旬までは病害株は抑えられていたが、8月以降の豪雨で畝間に水が溜まり、病害が拡大したことから**排水対策が重要である**ことがわかった。

20

次年度に向けた対策

反映

R 8年度の普及指導計画

- 1 施肥設計については、引き続き、土壌分析に基づいた処方箋を作成する
- 2 苗の供給については、種苗会社からの購入と併せて自家育苗を再開する
- 3 排水対策を始めとした、総合的な病害対策を徹底する
- 4 植え付け時の基本技術の徹底
(高温・乾燥対策、適正な植え付け間隔)
- 5 各ほ場ごとに2週間おきに、さつまいもの生育状況を確認する

加工用甘藷生産拡大検討会
(令和7年12月23日)

- ①鹿児島地域振興局農政普及課
②三島村関係者、③農業開発総合センター



21

21



御清聴ありがとうございました

22